

川越に図書館が生まれて100年 あゆみ

大正4年(1915)

5月1日 旧南久保町に私立川越図書館開館。館長菅野政五郎、理事長安部立郎。

大正5～6年

P2 参照 安部立郎校訂『川越年代記・三芳野砂子』『川越素麺』『三芳野名勝図会』発行。

大正7年

6月15日 川越町立図書館として埼玉県知事より認可、町立図書館となる。

大正11年

12月1日 市制施行にともない市立図書館となる。

大正14年(1925)

5月1日 創立10周年記念祝賀式開催。

昭和7年

10月5日 旧北久保町に移転新築開館。

昭和20年(1945)

3月31日 児童閲覧室を閉鎖、市内駐屯中の軍隊に貸与。

昭和24年

10月1日 創立35周年記念式典開催。『川越図書館のしおり』発行。

昭和25年(1950)

4月30日 図書館法公布。

昭和28年

11月10日 『川越市立図書館郷土資料目録』第1版発行（以降平成4年まで改訂等により計8冊発行）。

昭和37年

6月1日 小グループによる回覧制団体貸出制度を設け、家庭婦人を対象に配本貸出開始。“リーディング・ファイブ”と命名。

昭和41年

10月28日 創立50周年記念式典開催。『川越市立図書館50年のあゆみ』発行。

昭和42年

10月2日 「家庭文庫友の会」を設立。

昭和50年(1975)

6月1日 開架貸出室、児童貸出室を設置。一部開架制とする。

12月 霞ヶ関北公民館配本所開設（以後、昭和56年まで市内8公民館に逐次設置）。

昭和57年

1月19日 川越市立図書館建設委員会設置、川合喜一市長より図書館建設について諮問。

7月 『川越市立図書館 図書館だより』創刊（以降平成18年 第68号まで）。

昭和58年

11月16日 川越市朗読の会（川越市立図書館音訳者グループの前身）発足。

昭和59年

10月31日 三久保町に移転新築開館。AV資料（CD・カセットテープ・レコード）の視聴開始。南公民館より視聴覚ライブラリー移転。図書館コンピュータシステム導入（第1期）。

P5 参照

11月20日 駐車場17箇所で移動図書館やまぶき号貸出開始。配本所を霞ヶ関北・霞ヶ関・高階南公民館に継続設置。

12月15日 対面朗読サービス開始。

昭和61年

4月1日 川越市史編纂業務終了により、市史編纂室収集資料が移管される。

7月15日 AV資料貸出開始。

9月7日 にちようおはなし会開始。

昭和62年

3月31日 『川越市史研究』第2号 発行（以降平成5年 第4号まで3冊発行）

7月10日 霞ヶ関東小学校の学校図書館研究事業に協力、学級訪問（ブック・トーク等）を開始（2箇所）。

P9 参照

10月7日 児童向けおすすめ新刊本リスト『きこえる？ぼくたちのおしゃべり』創刊。

平成元年

4月 古谷東小学校の学校図書館研究事業に協力、学級訪問開始（2箇所）。

4月25日 児童室だより『はろーぶっく』創刊。

10月 一部の市立小学校へ学級訪問開始。

11月 西文化会館児童コーナー開設。

平成2年(1990)

10月 川越第一、川越小学校学級招待開始。

平成3年

4月2日 第2期コンピュータシステム稼動。利用者用蔵書検索端末（OPAC）導入。

7月 中学生向けおすすめ新刊リスト『星のかけら』創刊。

平成5年

6月 視覚障害者向けプライベートテープ作成開始。特別養護老人ホーム「やまぶき荘」に貸出文庫「やまぶき文庫」開設。

平成6年

3月30日 『校注武蔵三芳野名勝図会』発行。

平成7年(1995)

- 1月20日 霞ヶ関南分室(霞ヶ関南小学校内)開設。
- 5月 ひよこおはなし会開始。
- 10月 新移動図書館車やまぶき号巡回開始。

平成8年

- 12月13日 第3期コンピュータシステム稼働。

平成9年

- 3月31日 『ひよこBOOK』発行。
- 5月20日 川越市立図書館配本所連絡協議会へ分室・配本所業務の委託開始。
- 7月2日 川越都市圏まちづくり協議会の7市町(川越・坂戸・鶴ヶ島・日高市・川島・毛呂山・越生町)による広域利用開始。
- 12月1日 上福岡市・大井町と相互利用開始。

平成12年(2000)

- 10月1日 狭山市と相互利用開始。
- 10月27～29日 リサイクル市開催(以降毎年1回開催)。

平成13年

- 3月31日 『川越市立図書館収蔵文書目録』(1)発行(以降平成24年(3)まで3冊発行、途中タイトルの一部変更あり)。
- 12月26日 霞ヶ関配本所、西文化会館児童コーナー廃止。

平成14年

- 2月 第4期コンピュータシステム稼働。
- 2月14日 インターネット蔵書検索・予約サービス開始。
- 3月 視覚障害者向けDAISY録音図書製作開始。
- P8 参照** 4月1日 西図書館開館(磁気タグ方式の不正持出防止装置導入)。川越市立図書館の名称を「川越市立中央図書館」に変更。一部カウンター業務の民間委託開始。ビデオ貸出開始。
- 7月21日 川越駅東口図書館開館(磁気タグ方式の不正持出防止装置導入)。
- 11月1日 利用者用蔵書検索端末(OPAC)から予約申込受付開始。
- 12月1日 『本の中の川越』発行。

平成15年

- 8月22日 ブックスタート開始。**P10 参照**
- 9月 いないないばあのおはなし会開始。

平成16年

- 3月31日 『川越市立中央図書館収蔵和漢古書目録』発行。**P7 参照**

- 5月10日 東京国際大学図書館と相互協力開始。

平成17年(2005)

- 10月1日 ふじみ野市と相互利用開始。

平成18年

- 1月5日 中央図書館2階にICタグ方式の不正持出防止ゲート設置(以降平成20年6月1階にも設置)。
- 4月1日 さいたま市と相互利用開始。

平成19年

- 3月31日 移動図書館「やまぶき号」廃止。
- 3月31日 『川越市立中央図書館所蔵郷土資料への道案内』発行。
- 12月27日 高階南配本所廃止。

平成20年

- 2月26日 第5期コンピュータシステム稼働。インターネット端末利用者開放開始。DVD貸出開始。
- 3月5日 予約資料のメールによる連絡開始。
- 5月1日 高階図書館開館(ICタグ方式の貸出・返却開始、不正持出防止ゲート設置)。

平成22年(2010)

- 4月 全市立小学校(3年生対象)への学級訪問または学級招待を開始。

平成23年

- 4月23日 川越市立図書館が「平成23年度子どもの読書活動優秀実践図書館」として文部科学大臣表彰を受ける。

平成24年

- 1月1日 返却遅滞者に対する貸出停止制度開始。中央図書館で雑誌スポンサー制度開始(以降西、川越駅東口、高階図書館で順次開始)。
- 2月1日 国立国会図書館の配信する「歴史的音源」の利用開始。

平成26年

- 1月22日 高階図書館でぬいぐるみおはなし会開始(以降西図書館で同様の催し開始)。
- 2月26日 第6期コンピュータシステム稼働。
- 3月1日 自宅端末による貸出期間延長導入。
- 5月15日 バリアフリー映画会開催、副音声付き映画の上映を行う。

平成27年(2015)

- 5月1日 川越に図書館が生まれて100年を迎え、この年度は複数の記念事業を実施。